

ま え が き

青森県の経済情勢は、日本銀行青森支店の発表によると「県内の景気は、緩やかに回復している。最終需要動向を見ると、個人消費はサービス消費を中心に回復している」としております。

令和6年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症のパンデミックがようやく終息に向かう一方で、ロシアのウクライナ侵略戦争の長期化、イスラエル・ガザ紛争の勃発、米中対立など、世界情勢は不透明さを増し、地政学的なリスクが高まりました。

また、国土交通省では、令和7年4月1日より年度末における車検の混雑緩和と自動車整備士の働き方改革の為、車検の受検期間(残存する有効期間を失わずに車検を受けられる期間)を車検証の有効期間満了時の「2か月前」から受検可能にしました。

このような中、令和6年度の検査登録申請等に関する状況につきまして、登録車と軽自動車を合わせた全国の新車販売台数は、前年度比 1.0%増の 4,575,706 台となり、3年連続で前年度実績を上回りました。

令和6年度、県内の新車台数状況は、登録車が前年度比 1.4%減の 28,679 台と、前年を下回り、軽自動車は、前年度比 1.9%減の 19,852 台と、前年を2年連続下回りました。この結果、二輪を除く新車総台数は、前年度比 1.6%減の 48,531 台となり、前年度実績を下回りました。

また、中古車台数状況は、登録車が前年度比 2.6%減の 38,946 台と前年度実績を下回り、軽自動車は、前年度比 3.0%減の 40,701 台と6年連続で前年度実績を下回りました。中古車総台数では、前年度比 2.8%減の 79,647 台となり、前年度実績を下回りました。

さらに、自動車保有車両数は、令和7年3月末現在 995,358 台で前年同期比 3,946 台の減少となっており、3月末で100万台を下回るのは2年連続となりました。一世帯当たりの保有車両数は1.68台と前年の1.69台とほぼ同様となっております。

この資料は、東北運輸局青森運輸支局のご協力を得て、当支部及び当会議所のホームページに掲載しております。この資料が、関係官庁及び関連業界などの各専門分野で分析・研究され車社会を考える一助になれば幸甚に存じます。

令和7年10月

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会青森県支部
一般社団法人 青 森 県 自 動 車 会 議 所